返還同意書等作成支援ツール操作説明書
訪問看護ステーション向け
(ver.1.08)

目次

1. 返還同意書等作成支援ツールの作業の流れ
2. データ入力
  2-1 データ入力①(訪問看護ステーションの情報入力)
  2-2 データ入力②(返還金データの入力)
  2-3 データ入力③(返還項目ごとの点数入力)
3. チェック・製表
4. 帳票を厚生局に送付
5. 返還同意書の記載例(管轄厚生局あて・都道府県知事あて)
6. 事由番号表の「点数」欄への入力

令和8年10月　北海道厚生局

はじめに

返還同意書等作成支援ツールを使用する際は、ホームページからダウンロードし、PCに保存してから使用して下さい。

推奨環境
OS：Windows 10 64bit
CPU：core i3 or core i5
メモリ：4GB以上
EXCEL：Microsoft 365、Excel 2019、Excel 2016、Excel 2013

必須環境
OS：Windows
EXCEL：Excel 2007以降

1. 返還同意書等作成支援ツールの作業の流れ

データ入力

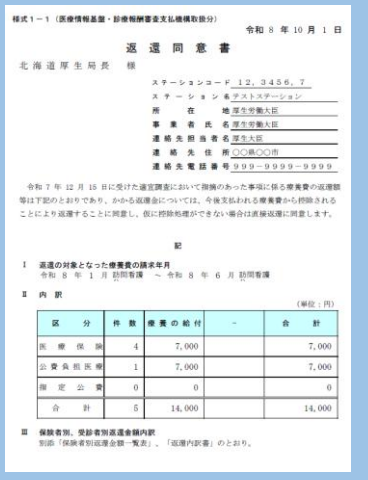
チェック

製表

データシート



帳票



様式１－１（医療情報基盤・診療報酬審査支払機構取扱分）

令和 8 年 10 月 1 日

返 還 同 意 書

北 海 道 厚 生 局 長　様

ステーションコード　12，3456，7
ステーション名　テストステーション
所在地　厚生労働大臣
事業者氏名　厚生労働大臣
連絡先担当者名　厚生太郎
連絡先住所　○○県○○市
連絡先電話番号　999－9999－9999

令和７年 12 月 15 日に受けた適宜調査において指摘のあった事項に係る療養費の返還額等は下記のとおりであり、かかる返還金については、今後支払われる療養費から控除されることにより返還することに同意し、仮に控除処理ができない場合は直接返還に同意します。

記

Ⅰ　返還の対象となった療養費の請求年月
令和 8 年 1 月 訪問看護　～ 令和 8 年 6 月 訪問看護

Ⅱ　内訳

（単位：円）

区分	件数	療養の給付	－	合計
医療保険	4	7,000		7,000
公費負担医療	1	7,000		7,000
指定公費	0	0		0
合計	5	14,000		14,000

Ⅲ　保険者別、受診者別返還金額内訳
別添「保険者別返還金額一覧表」、「返還内訳書」のとおり。



様式７－１（協会けんぽ）

保険者別返還金額一覧表

【支払機構用】　区分　若　ステーションコード　0123456　ステーション名　テストステーション　（１－１枚）

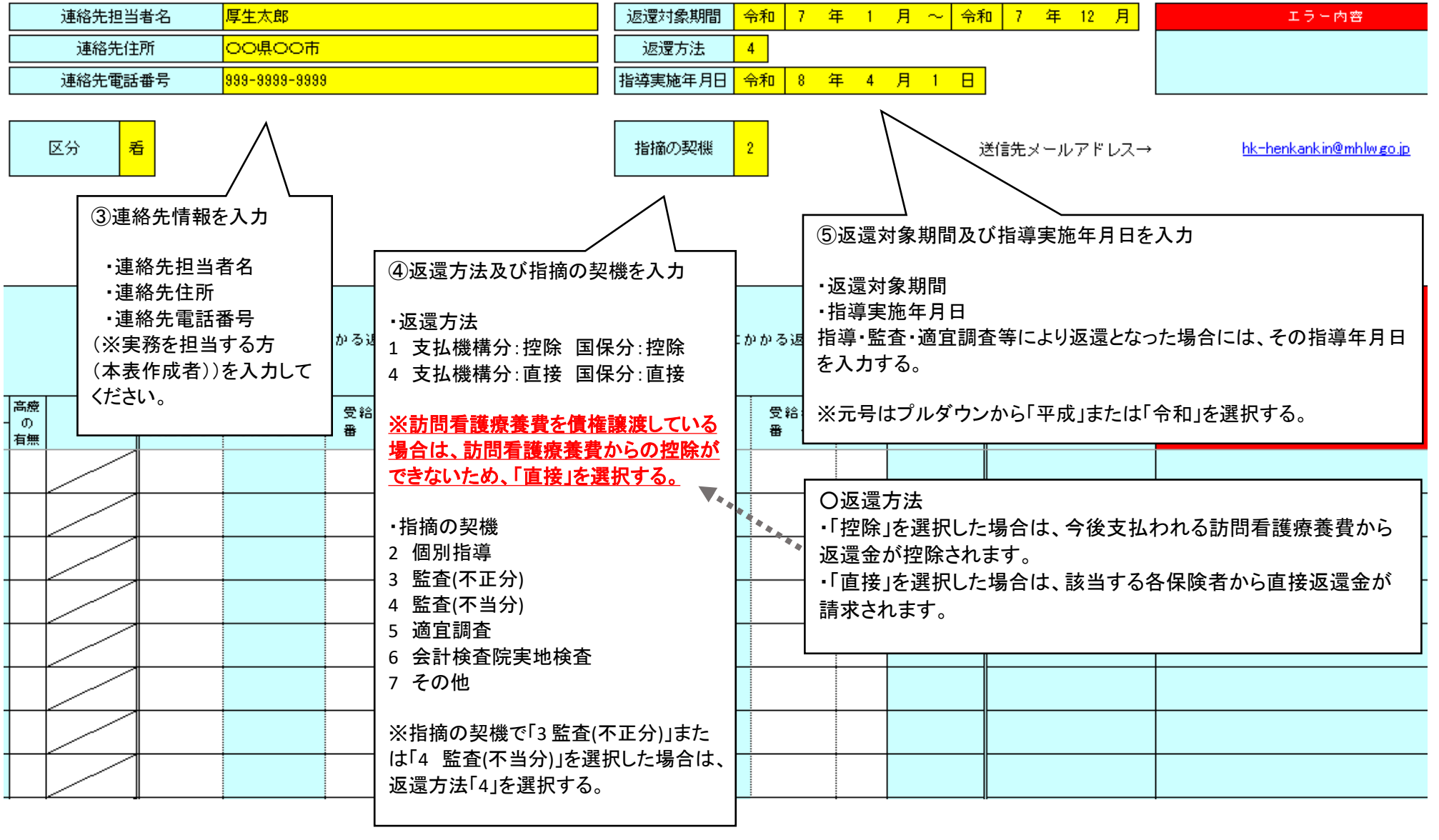
NO	保険者番号 法別	府県	番号	CD	保険者名	入外区分	給付割合	件数	療養の給付 療養費の額	療養の給付 金額（返還額）	－	備考
1	0	1	0	1	0 0 1	6	全国健康保険協会 北海道支部		70%	1	1,000	700		
2														
3														
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10														
11														
12														
13														
14														
15														
小計	（保険者数　1　）							1	1,000	700		
合計	（保険者数　1　）							1	1,000	700		

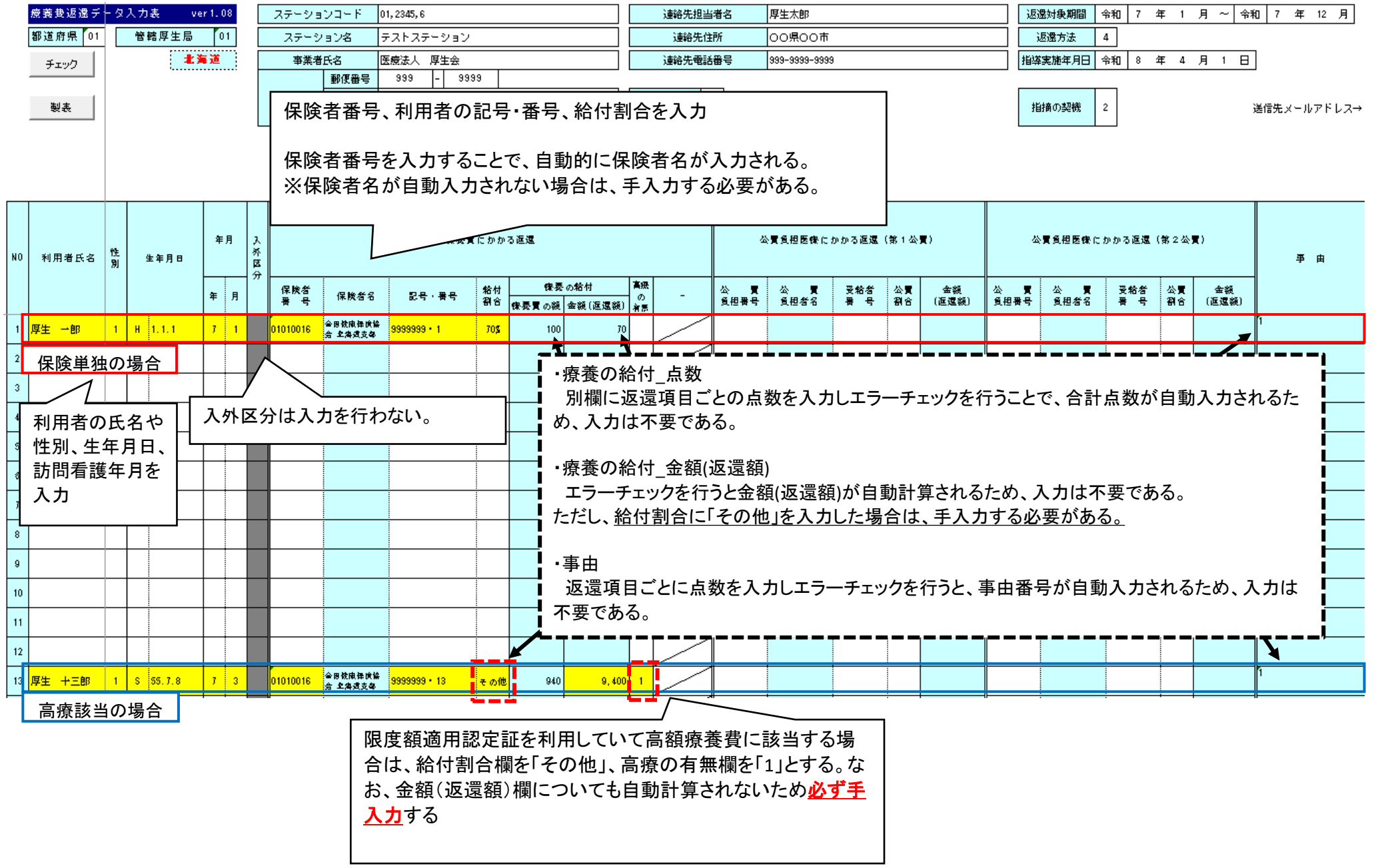
（記載要領）
※　合計欄は、総合計を最上部（○○－１枚）に記載し、（○○－２枚）以降の合計欄については、斜線を引くこと。

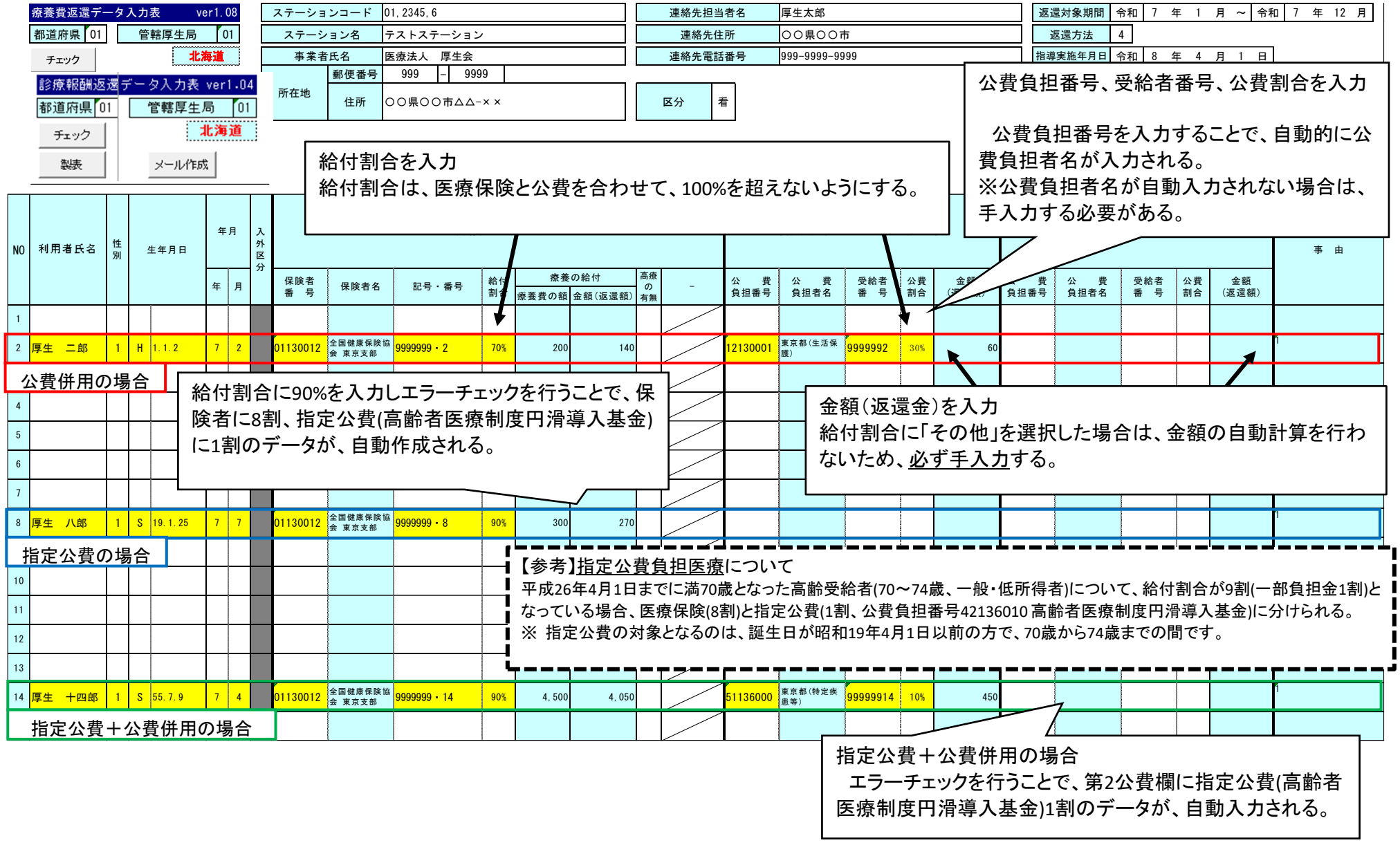
2. データ入力

2-1 データ入力①(訪問看護ステーションの情報入力)

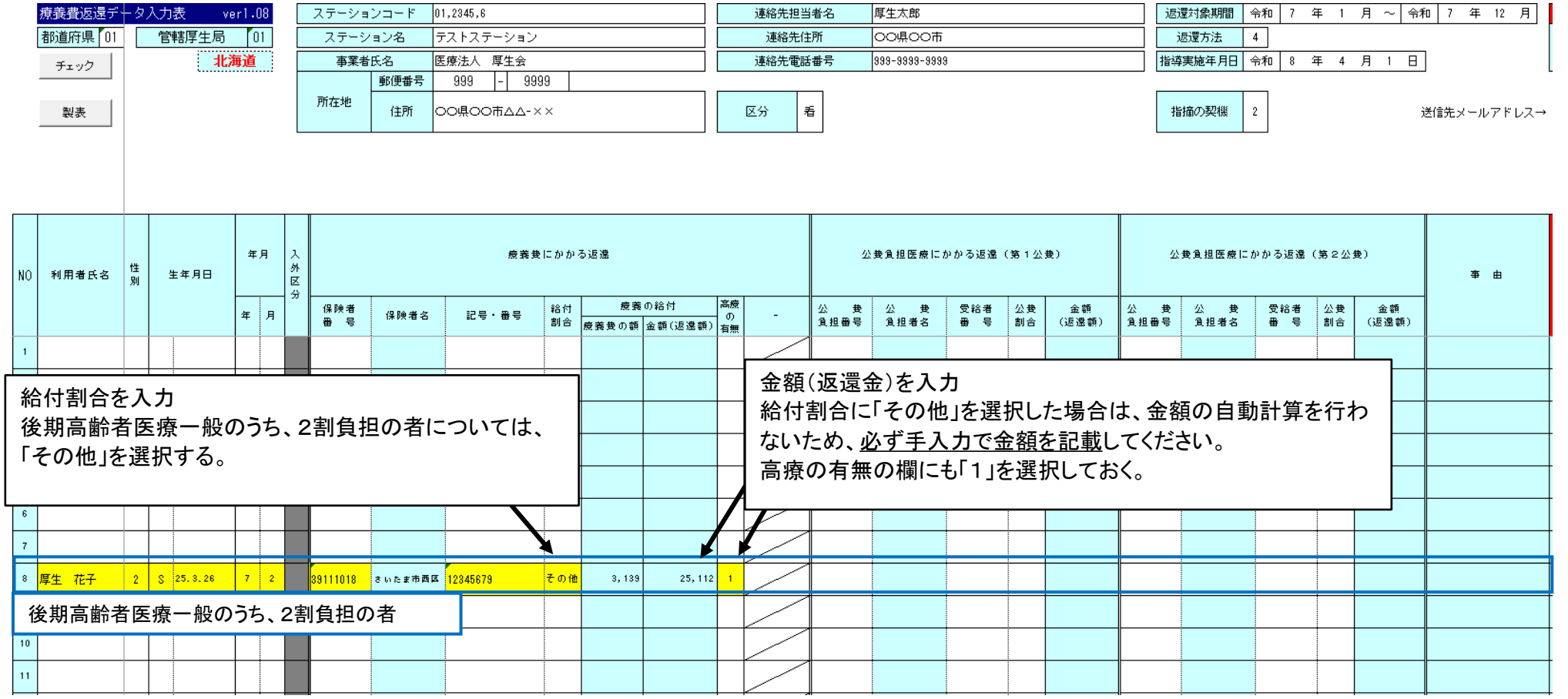



連絡先担当者名
厚生太郎
連絡先住所
〇〇県〇〇市
連絡先電話番号
999-9999-9999
返還対象期間
令和 7 年 1 月 ～ 令和 7 年 12 月
返還方法
4
指導実施年月日
令和 8 年 4 月 1 日
エラー内容
区分
看
指摘の契機
2
送信先メールアドレス→
hk-henkankin@mhlw.go.jp
③連絡先情報を入力
・連絡先担当者名
・連絡先住所
・連絡先電話番号
（※実務を担当する方（本表作成者））を入力してください。
④返還方法及び指摘の契機を入力
・返還方法
1 支払機構分：控除 国保分：控除
4 支払機構分：直接 国保分：直接
※訪問看護療養費を債権譲渡している場合は、訪問看護療養費からの控除ができないため、「直接」を選択する。
・指摘の契機
2 個別指導
3 監査(不正分)
4 監査(不当分)
5 適宜調査
6 会計検査院実地検査
7 その他
※指摘の契機で「3 監査(不正分)」または「4 監査(不当分)」を選択した場合は、返還方法「4」を選択する。
⑤返還対象期間及び指導実施年月日を入力
・返還対象期間
・指導実施年月日
指導・監査・適宜調査等により返還となった場合には、その指導年月日を入力する。
※元号はプルダウンから「平成」または「令和」を選択する。
〇返還方法
・「控除」を選択した場合は、今後支払われる訪問看護療養費から返還金が控除されます。
・「直接」を選択した場合は、該当する各保険者から直接返還金が請求されます。
高療の有無
受給番


療養費返還データ入力表 ver1.08
都道府県 01
管轄厚生局 01
北海道
チェック
製表
ステーションコード 01,2345,6
ステーション名 テストステーション
事業者氏名 医療法人 厚生会
郵便番号 999 - 9999
連絡先担当者名 厚生太郎
連絡先住所 ○○県○○市
連絡先電話番号 999-9999-9999
返還対象期間 令和 7 年 1 月 ～ 令和 7 年 12 月
返還方法 4
指導実施年月日 令和 8 年 4 月 1 日
指摘の契機 2
送信先メールアドレス→
保険者番号、利用者の記号・番号、給付割合を入力
保険者番号を入力することで、自動的に保険者名が入力される。
※保険者名が自動入力されない場合は、手入力する必要がある。
NO
利用者氏名
性別
生年月日
年月
入外区分
保険者番号
保険者名
記号・番号
給付割合
療養の給付
療養費の額
金額(返還額)
高療の有無
公費負担医療にかかる返還（第１公費）
公費負担番号
公費負担者名
受給者番号
公費割合
金額(返還額)
公費負担医療にかかる返還（第２公費）
事由
1 厚生 一郎 1 H 1.1.1 7 1 01010016 ○○国民健康保険協会 北海道支部 9999999・1 70% 100 70
保険単独の場合
利用者の氏名や性別、生年月日、訪問看護年月を入力
入外区分は入力を行わない。
・療養の給付_点数
別欄に返還項目ごとの点数を入力しエラーチェックを行うことで、合計点数が自動入力されるため、入力は不要である。
・療養の給付_金額(返還額)
エラーチェックを行うと金額(返還額)が自動計算されるため、入力は不要である。
ただし、給付割合に「その他」を入力した場合は、手入力する必要がある。
・事由
返還項目ごとに点数を入力しエラーチェックを行うと、事由番号が自動入力されるため、入力は不要である。
13 厚生 十三郎 1 S 55.7.8 7 3 01010016 ○○国民健康保険協会 北海道支部 9999999・13 その他 940 9,400 1
高療該当の場合
限度額適用認定証を利用していて高額療養費に該当する場合は、給付割合欄を「その他」、高療の有無欄を「1」とする。なお、金額（返還額）欄についても自動計算されないため必ず手入力する


療養費返還データ入力表 ver1.08
都道府県 01
管轄厚生局 01
北海道
チェック
診療報酬返還データ入力表 ver1.04
都道府県 01
管轄厚生局 01
北海道
チェック
製表
メール作成
ステーションコード 01, 2345, 6
ステーション名 テストステーション
事業者氏名 医療法人 厚生会
所在地 郵便番号 999 - 9999
住所 ○○県○○市△△-××
連絡先担当者名 厚生太郎
連絡先住所 ○○県○○市
連絡先電話番号 999-9999-9999
区分 看
返還対象期間 令和 7 年 1 月 ～ 令和 7 年 12 月
返還方法 4
指導実施年月日 令和 8 年 4 月 1 日
給付割合を入力
給付割合は、医療保険と公費を合わせて、100%を超えないようにする。
公費負担番号、受給者番号、公費割合を入力
公費負担番号を入力することで、自動的に公費負担者名が入力される。
※公費負担者名が自動入力されない場合は、手入力する必要がある。
NO
利用者氏名
性別
生年月日
年月
入外区分
保険者番号
保険者名
記号・番号
給付割合
療養の給付
療養費の額
金額(返還額)
高療の有無
公費負担番号
公費負担者名
受給者番号
公費割合
金額(返還額)
事由
2 厚生 二郎 1 H 1.1.2 7 2 01130012 全国健康保険協会 東京支部 9999999・2 70% 200 140 12130001 東京都(生活保護) 9999992 30% 60 1
公費併用の場合
給付割合に90%を入力しエラーチェックを行うことで、保険者に8割、指定公費(高齢者医療制度円滑導入基金)に1割のデータが、自動作成される。
金額(返還金)を入力
給付割合に「その他」を選択した場合は、金額の自動計算を行わないため、必ず手入力する。
8 厚生 八郎 1 S 19.1.25 7 7 01130012 全国健康保険協会 東京支部 9999999・8 90% 300 270 1
指定公費の場合
【参考】指定公費負担医療について
平成26年4月1日までに満70歳となった高齢受給者(70～74歳、一般・低所得者)について、給付割合が9割(一部負担金1割)となっている場合、医療保険(8割)と指定公費(1割、公費負担番号42136010 高齢者医療制度円滑導入基金)に分けられる。
※ 指定公費の対象となるのは、誕生日が昭和19年4月1日以前の方で、70歳から74歳までの間です。
14 厚生 十四郎 1 S 55.7.9 7 4 01130012 全国健康保険協会 東京支部 9999999・14 90% 4,500 4,050 51136000 東京都(特定疾患等) 99999914 10% 450 1
指定公費＋公費併用の場合
指定公費＋公費併用の場合
エラーチェックを行うことで、第2公費欄に指定公費(高齢者医療制度円滑導入基金)1割のデータが、自動入力される。

令和4年10月訪問看護分から施行された後期高齢者医療における負担割合の見直しに係るデータ入力について



長期頻回受診患者への配慮措置について

・2割負担への変更により影響が大きい利用者について、施行後**3年間**、一月分の1割負担の場合と比べた負担増を、最大でも**3,000円に収まるような措置**が導入されています。

・上記にかかわらず、他の医療機関における一部負担金額は不明であることから、自院において負担増が**3,000円を超えない場合でも、高療の有無の欄に「１」を選択**してください。

・配慮措置の対象となるのは、保険単独医療のみであり、**公費負担医療及び特定疾病療養（マル長）については、配慮措置の対象外**となります。

（公費負担医療等についても、後日、保険者において一か月の外来での自己負担額を合算し、配慮措置の対象となる場合は差額を払い戻します。）

データ入力例

療養費返還データ入力表　ver1.08

都道府県 01　管轄厚生局 01　北海道

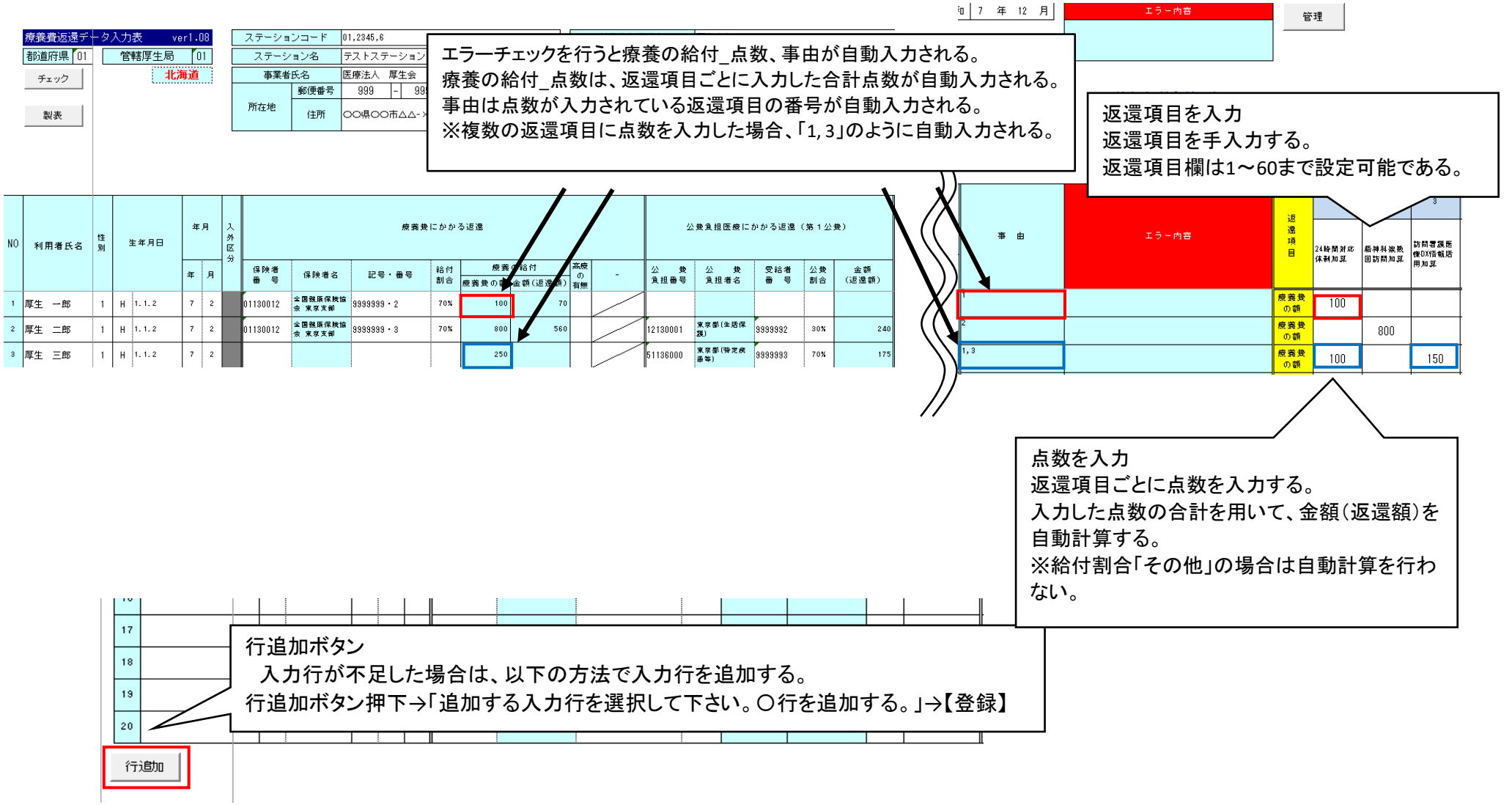
チェック

製表

ステーションコード	01,2345,6	連絡先担当者名	厚生太郎	返還対象期間	令和 7 年 1 月 ～ 令和
ステーション名	テストステーション	連絡先住所	○○県○○市	返還方法	4
事業者氏名	医療法人　厚生会	連絡先電話番号	999-9999-9999	指導実施年月日	令和 8 年 4 月 1 日
所在地 郵便番号	999 - 9999				
所在地 住所	○○県○○市△△-×××	区分	看	指摘の契機	2

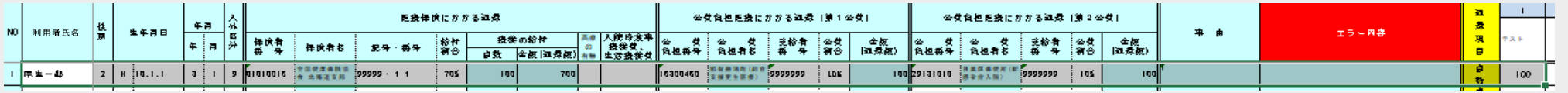
NO	利用者氏名	性別	生年月日	年月 年	年月 月	入外区分	療養費にかかる返還 保険者番号	保険者名	記号・番号	給付割合	療養の給付 療養費の額	療養の給付 金額(返還額)	高療の有無	-	公費負担医療にかかる返還（第１公費） 公費負担番号	公費負担者名	受給者番号	公費割合	金額(返還額)	公費負担医療にかかる返還（第２公費） 公費負担番号	公費負担者名	受給者番号	公費割合	金額(返還額)
1	厚生　一郎	1	H 1.1.2	7	2		01130012	全国健康保険協会 東京支部	9999999・2	70%	100	70												
	保険単独の場合																							
3	厚生　三郎	1	H 1.1.2	7	2						100				12130001	東京都（生活保護）	9999993	100%	100					
	公費単独の場合																							
5	厚生　五郎	1	H 1.1.2	7	2		01130012	全国健康保険協会 東京支部	9999999・5	70%	100	70			12130001	東京都（生活保護）	9999995	30%	30					
6	厚生　六郎	1	H 1.1.2	7	2		138016	千代田区	9999999・6	70%	100	70			51136000	東京都（特定疾患等）	9999996	20%	20	12130001	東京都（生活保護）	699999	10%	10
	保険＋公費併用の場合																							
8	厚生　九郎	1	S 19.1.25	7	7		01130012	全国健康保険協会 東京支部	9999999・8	90%	100	90												
9	厚生　十郎	1	S 19.1.25	7	7		138016	千代田区	9999999・9	90%	100	90												
	指定公費の場合																							
11	厚生　十一郎	1	S 19.1.25	7	7						100				12130001	東京都（生活保護）	99999911	70%	70	51136000	東京都（特定疾患等）	1199999	30%	30
	公費＋公費併用の場合																							
13	厚生　十三郎	1	S 19.1.25	7	7		01130012	全国健康保険協会 東京支部	9999999・13	90%	100	90			51136000	東京都（特定疾患等）	99999913	10%	10					
	指定公費＋公費併用の場合											4,050												
15	厚生　十四郎	1	S 55.7.9	7	4		01130012	全国健康保険協会 東京支部	9999999・15	その他	100	8,500	1											
	高療該当の場合																							

2-3 データ入力③(返還項目ごとの点数入力)

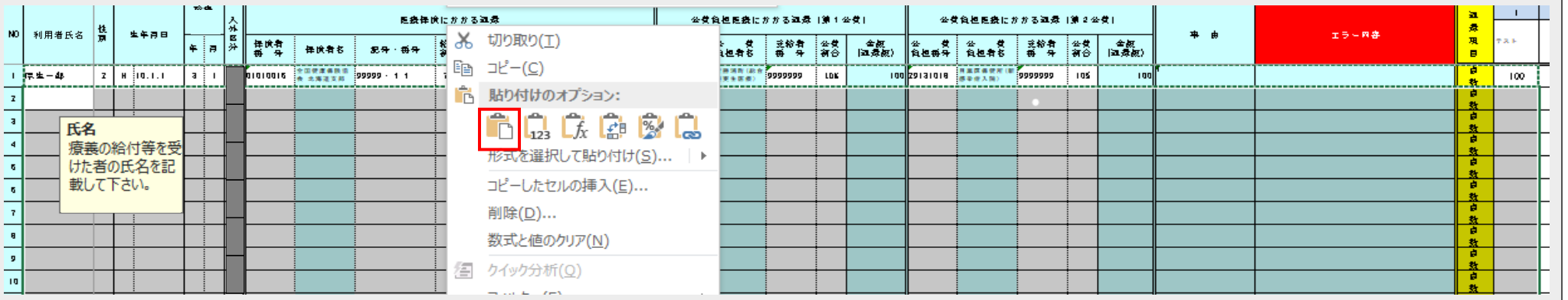


※データのコピー方法（利用者が複数の月にわたり同一の診療を受けている場合等）

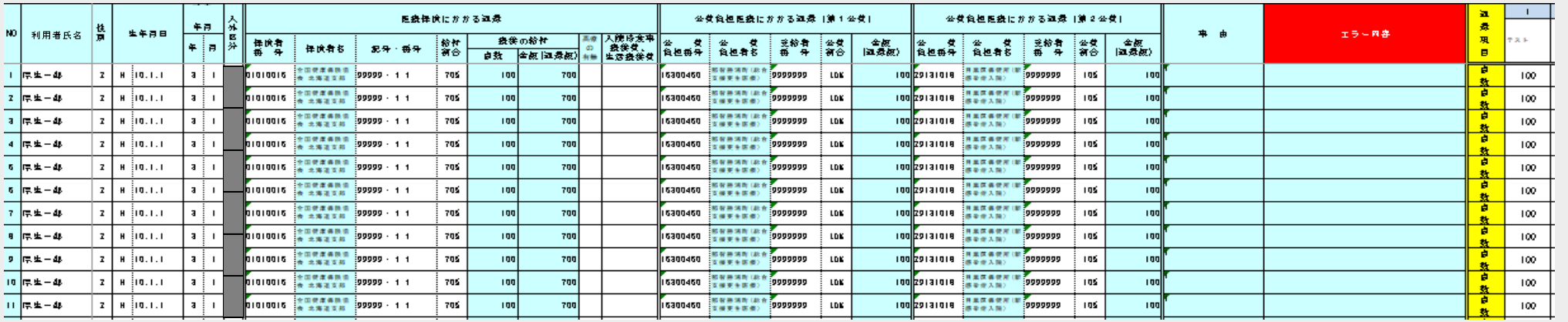
①「利用者氏名」から返還項目ごとの点数欄までを選択し、コピーする。



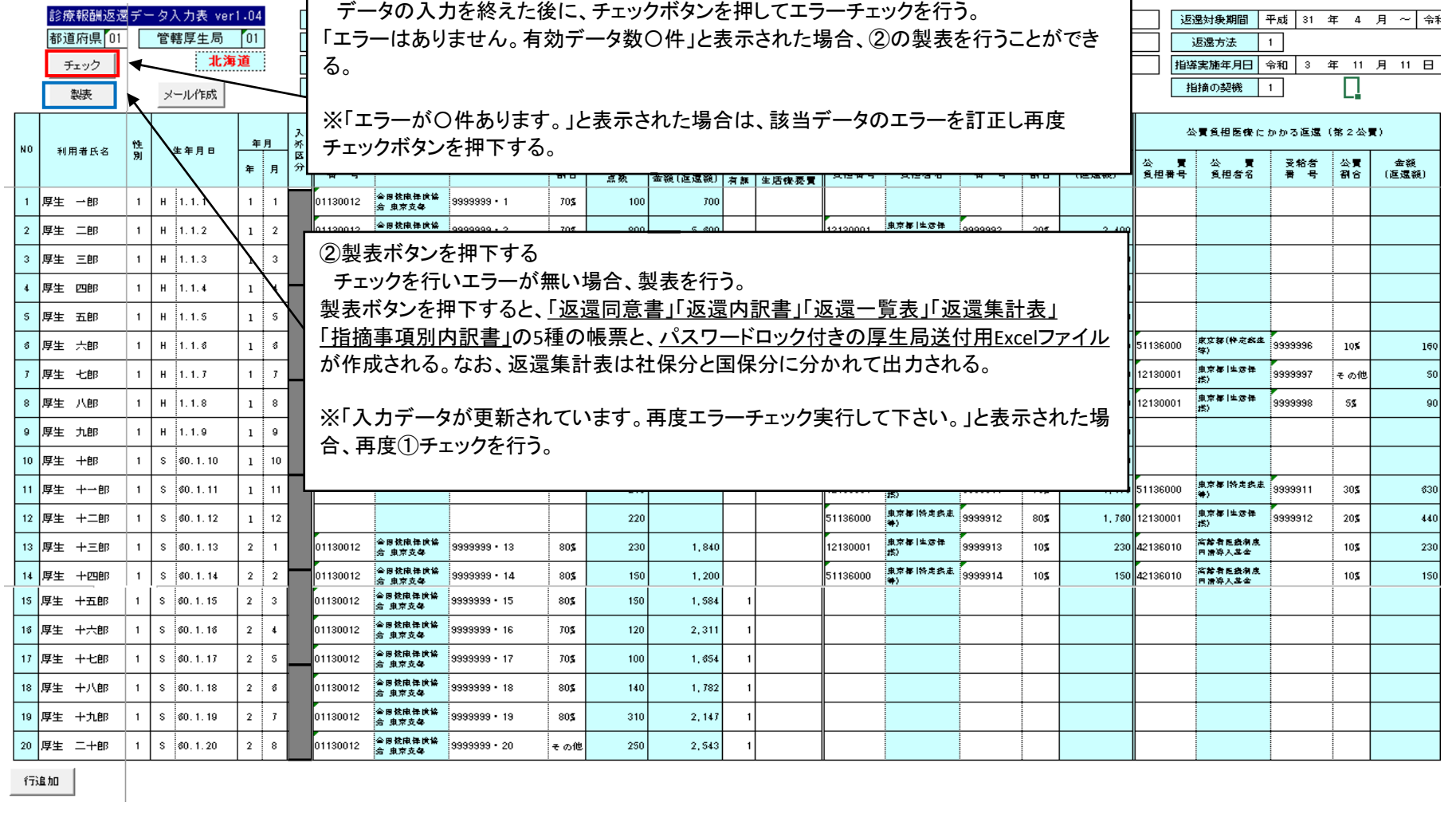
②貼り付けしたい行数分、範囲選択する。選択した範囲上で右クリックし、「貼り付け」を押下する。



③コピーしたデータNo.1と同じデータが、選択した範囲に一括でコピーされる。



3. チェック・製表



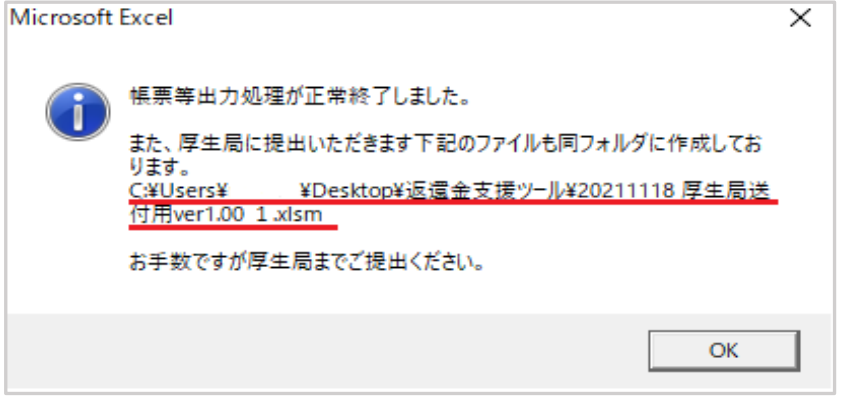
①チェックボタンを押下する
　データの入力を終えた後に、チェックボタンを押してエラーチェックを行う。
「エラーはありません。有効データ数〇件」と表示された場合、②の製表を行うことができる。

※「エラーが〇件あります。」と表示された場合は、該当データのエラーを訂正し再度チェックボタンを押下する。

②製表ボタンを押下する
　チェックを行いエラーが無い場合、製表を行う。
製表ボタンを押下すると、「返還同意書」「返還内訳書」「返還一覧表」「返還集計表」「指摘事項別内訳書」の5種の帳票と、パスワードロック付きの厚生局送付用Excelファイルが作成される。なお、返還集計表は社保分と国保分に分かれて出力される。

※「入力データが更新されています。再度エラーチェック実行して下さい。」と表示された場合、再度①チェックを行う。

4. 帳票を厚生局に送付



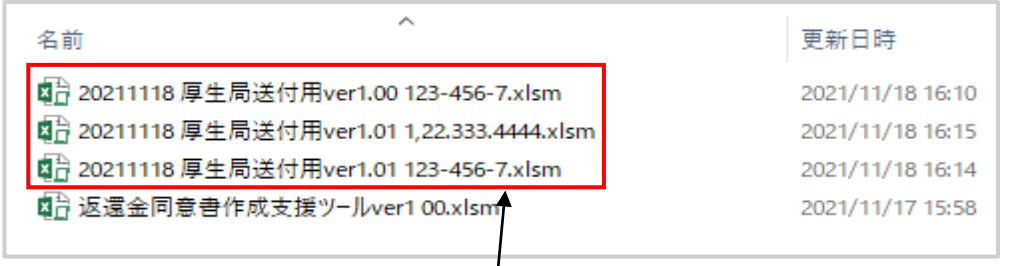
製表完了後、左記のメッセージボックスが表示される。
このメッセージボックスにて厚生局送付用Excelファイルの保存先が表示されるので、
保存先を確認の上「OK」ボタンを押下する。

厚生局送付用Excelファイル名　**20211118 厚生局送付用ver1.00 123-456-7.xlsm**

- 20211118：製表した日付
- ver1.00：データシート左上 バージョン情報
- 123-456-7：データシート ステーションコード

※作成されたファイル名は変更しないでください





製表日時・バージョン情報・ステーションコードのいずれかが異なる状態で再製表すると、新たに厚生局送付用Excelファイルが保存されるため、ファイル名を確認の上厚生局へ送付する。

原則、厚生局送付用Excelファイルは、当ツールが保存されているフォルダ内に作成される。
保存された厚生局送付用Excelファイルと、当ツールにて出力した紙帳票を厚生局に送付する。

※再度製表すると、既存のファイルに上書き保存されるため更新日時を確認の上、厚生局へ送付する。

※厚生局へは、この「厚生局送付用Excelファイル」のほか、紙媒体により、
「返還同意書」、「保険者別返還金額一覧表」、「返還内訳書」を送付する。
　なお、「指摘事項別返還金額内訳書」については、厚生局から提出指示があった場合のみ同様に紙媒体で送付する。

※製表ボタンにより作成される「返還集計表」については、特に厚生局へ提出する必要はなく、入力内容確認等に適宜ご活用いただく。

5. 返還同意書の記載例（管轄厚生局あて・都道府県知事あて）

様式１－１（医療情報基盤・診療報酬審査支払機構取扱分）

令和 8 年 9 月 30 日

返 還 同 意 書

北 海 道 厚 生 局 長　様

ステーションコード	０１，２３４５，６
ステーション名	テストステーション
所在地	○○県○○市△△-××
事業者氏名	医療法人　厚生会
連絡先担当者名	厚生太郎
連絡先住所	○○県○○市
連絡先電話番号	999-9999-9999

令和 8 年 4 月 1 日に受けた個別指導において指摘のあった事項に係る療養費の返還額等は下記のとおりであり、かかる返還金については、該当する保険者へ直接返還することに同意します。

記

Ⅰ　返還の対象となった療養費の請求年月

令和 7 年 1 月 訪問看護分 ～ 令和 7 年 12 月 訪問看護分

Ⅱ　内 訳

実際に厚生局へ送付する日付とする。

自動出力された内容、体裁等を確認し、必要に応じて修正する。

6. 事由番号表の「点数」欄への入力

事由欄　対応番号表

番号	返還項目	点数
1	初診料	10
2	再診料	20
3	特定疾患療養管理料	30
4		

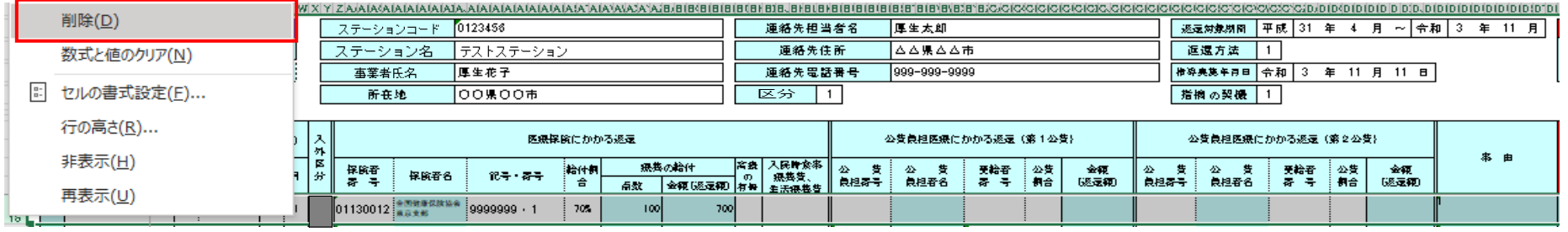
※入力された点数はデータシートに反映されるわけではない。

7. データシートの行削除

①削除したい返還金データを行選択する。

NO	利用者氏名	性別	生年月日	年	月	入外区分	医療保険にかかる返還 保険者番号	保険者名	記号・番号	給付割合	療養の給付 点数	療養の給付 金額(返還額)	高齢の有無	入院時食事療養費、生活療養費	公費負担医療にかかる返還（第１公費） 公費負担者番号	公費負担者名	受給者番号	公費割合	金額(返還額)	公費負担医療にかかる返還（第２公費） 公費負担者番号	公費負担者名	受給者番号	公費割合	金額(返還額)	事由
1	厚生　一郎	1	H 1.1.1	1	1		01130012	全国健康保険協会 東京支部	9999999・1	70%	100	700													1
2	厚生　二郎	1	H 1.1.2	1	2		01130012	全国健康保険協会 東京支部	9999999・2	70%	800	5,600			12130001	東京都（生活保護）	9999992	30%	2,400						2
3	厚生　三郎	1	H 1.1.3	1	3						250	1,750			51136000	東京都（特定疾患等）	9999993	100%	750						1,3

②行選択された状態で選択された範囲内で右クリックを押し、「削除」を押下する。



③行選択した返還金データが削除される。データシート内のNoはチェックボタンを押したときに「1」から再付番される。

NO	利用者氏名	性別	生年月日	年	月	入外区分	医療保険にかかる返還 保険者番号	保険者名	記号・番号	給付割合	療養の給付 点数	療養の給付 金額(返還額)	高齢の有無	入院時食事療養費、生活療養費	公費負担医療にかかる返還（第１公費） 公費負担者番号	公費負担者名	受給者番号	公費割合	金額(返還額)	公費負担医療にかかる返還（第２公費） 公費負担者番号	公費負担者名	受給者番号	公費割合	金額(返還額)	事由
1	厚生　二郎	1	H 1.1.2	1	2		01130012	全国健康保険協会 東京支部	9999999・2	70%	800	5,600			12130001	東京都（生活保護）	9999992	30%	2,400						2
2	厚生　三郎	1	H 1.1.3	1	3						250	1,750			51136000	東京都（特定疾患等）	9999993	100%	2,500						1,3